

感謝状贈呈

千鷲会は5名に感謝状を贈呈した。
これは新年度役員を退任する会員の中で、特に永きにわたり千鷲会の発展向上に尽力した役員に贈呈される。

【表彰者】 (役員年数)

- 白木敏滋副会長 (22年)
- 田爪幸夫会計理事 (6年)
- 渡辺孝典総務部長 (10年)
- 宮崎光男総務理事 (6年)
- 久保将夫地区幹事 (10年)

永年ありがとうございました。これからもご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

平成28年度 千鷲会 定期総会



左より田爪、白木、会長、渡辺、宮崎(久保地区幹事は所用で欠席)

【これからの行事】

- ◇千歳基地航空祭 8月7日(日)
- ◇千鷲会親睦会 (成吉思汗パーティ) 8月11日1200~1500 千歳市「防災の森」 会費：2500円程度



「千鷲会の〇〇です」と申し出れば 特別サービスがあるかも……

店主 山澤 栄子
住所 千歳市栄町1-9-2
電 (27) 0051



これまで清水町仲の橋通りで営業していましたが、この度、栄町1丁目の住宅街に移転し、リラックスした雰囲気にご家族お揃いのお越しにも対応可能な気のない献立にてお待ちしておりますので、是非一度ご来店下さい。

賛助会員の紹介
酒菜亭 あうん

名所・旧跡紹介 北海道最古の鉄橋 山線鉄橋



近場の名所、支笏湖はもう何度も訪れていることと思いませんか。湖畔を見渡すとひと際目立つ赤色の橋が目に入る。今や支笏湖のシンボルともなっているこの鉄橋は、函館本線の大正12年王子製紙へ払い下げられ現在軽便鉄道の鉄橋(通称・山線)として再利用された英国製ダブルウォールトラス橋である。

軽便鉄道は、明治41年から昭和26年まで発電所建設資材、製紙用原木輸送そして旅行者等の輸送も行った。当時の切符には「生命は保証の限りに非ず」と書かれていた。

鉄道の需要が減り昭和26年に王子軽便鉄道が廃止された。役目を終えた湖畔橋は昭和42年王子製紙から千歳市に寄贈。平成9年に修復復元され、湖畔の歩道橋として四季折々豊かな大自然の中で支笏湖を訪れる人に安らぎを与えている。(広報部調べ)

：昨年千鷲会だより16号から続く……
QCサークル活動とは品質管理活動の一環として自己啓発、相互啓発を行い、QC手法を活用して職場の管理、改善を継続的に行うものである。その手法は、歩留まりの追求に適する問題解決型、組織の態勢や情勢及び上級組織から与えられた課題への対応に適する課題達成型がある。

CAPAは、問題解決型の手法により、効率化と歩留まりを追求し、これ以上身の削ぎようが無いと言う段階までに達していた。

しかし、1993年(平成5年)突然、内閣総理大臣から防衛予算削減が発表され、翌年から写真用消耗品

費が3分の一となった。これに対応するため、課題達成型のQC手法に取り組み事となった。一方POWERSの方は、当時AISと称する特技はなく、装備隊及び修理隊の各職場から選出された人員により構成された混成特技の職場であったため、人員の入れ替えが多い職場とも言えた。また、器材が増えつつあった。

この状況に的確に対応していたが、台所は火の車であったと思う。

両サークルにとって時の流れは、ある意味逆風と言えたが、躍進の力でもあった。数々の巡り合わせもあってCAPAは2003年(平成15年)に北海道代表として、第33回全日本選抜QCサークル大会(日本科学技

術連盟QCサークル本部主催)で、道内サークルでは初の銀賞及び特別賞を受賞した。

翌年は同大会においてPOWERSが銀賞及び特別賞を受賞した。では、この様に鶴を削る両サークルは、敵対関係であったのかと言うと、それは違う。デジタ

ル写真やプレゼンテーションに不可欠なパソコンの技術を習得出来たのは、川端会員を初めとするPOWERSからの支援の賜である。CAPAの活動は、写真のデジタル化を実現させ、領空侵犯措置時に使用する識別カメラのデジタル化への発信源となった。これは、当時の第2航空団司令官岩崎元統合幕僚長及び飛行群司令官齊藤元航空幕僚長からの後押しもあり、本活動が領空侵犯措置の一部を変えたと言っても過言ではない。私にとってQCサークル活動は、活路を見出すためのツールであった。要因や対策案を人・物・金・時・所の要素で的確に評価し、最善の方策を講じ、これを確実に定着させる。ただし、評価に関しては、可能な限り数値化することである。一般的には目標達成率と改善策に眼が行きがちである、しかし、それに至った過程が重要であり、その結果を定着させる努力が最も重要である。本活動を通じて人・物・金・時・所は全てコストである事の認識を更に深め、原点回帰の重要性を知った。

現在は、写真特技の廃止に伴いCAPAと言うQCサークルは存在していない。でも、第2航空団QCサークル活動発表会でPOWERSが1位、CAPAが2位となり、合同の打上会で美酒に酔いしれた記憶が鮮やかに蘇る。(完)

千鷲会の会員数 (5月1日現在)

正会員	648名
賛助会員	
団体	16社
個人	16名

新入会

- 1月 岩淵 泰晴 (整備隊)
- 1月 前田 史郎 (管制隊)
- 2月 東ヶ崎 強 (整備隊)
- 2月 入江 正法 (整備隊)
- 2月 木原 廣 (9高隊)
- 2月 金田 弘 (203)
- 3月 阿部 貞彦 (整備隊)
- 4月 山崎 裕一郎 (指運隊)
- 4月 渋谷 正勝 (201)
- 6月 森岡 智之 (情報隊)

賛助新入会

- 12月 澤田 君子 (千歳市)

物故会員

- 12月 渡邊 英四郎 (若草)
- 1月 小笠原 信一 (新富)
- 4月 鈴木 雅 (新富)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

投稿記事の募集

千鷲会だよりは会員の皆様を紹介いたします。趣味、ボランティア、エピソード、旅行記など、内容は自由です。

投稿お待ちしております。

投稿先及び問い合わせ
鳩 (42) 02095
芦田 (26) 4053
鶴 (22) 7645